

2025年3月21日
SCSK株式会社

製造業のサプライチェーンマネジメントの高度化・業務効率化を支援する データプラットフォーム「SuccessChain for DataPlatform」を提供開始

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、株式会社 JDSC(以下 JDSC)と協業し、製造業のサプライチェーンにおける各業務システムの分散したデータを集約し、業務課題を可視化し、経営の高度化と業務効率化向上に貢献する「SuccessChain for DataPlatform」を2025年4月1日より提供開始します。SCSKの製造業におけるシステム構築の実績や多様なサービス提供の経験と、JDSCのAI・データサイエンスの技術力や事業開発力を組み合わせ、製造業のサプライチェーンマネジメントの高度化や業務効率化、データドリブン経営の実現に向けて、伴走型で支援します。

SuccessChain

1. 背景

国内の製造業は、深刻な人材不足、原材料費の高騰、国際情勢の不安定化、為替変動リスク、海外企業も含めた競合企業の台頭といった厳しい環境変化に直面しています。市場での地位を確保し、サプライチェーンの管理をより効率的かつ効果的に行い、持続的な成長を実現するために、“サプライチェーンマネジメントの高度化”とデータに基づいた“正確かつ迅速な意思決定”を実現する「データドリブン経営へのシフト」へのニーズが増加しています。SCSKは中期経営計画で掲げる「デジタルサプライチェーン事業」に取り組んでおり、お客様の基幹システムと周辺システム構築を包括的に支援するとともに、AI・データサイエンスを活用したサプライチェーンマネジメントの高度化や業務効率化、データドリブン経営の実現を支援するため、このたびの JDSC との協業、サービス提供開始に至りました。

2. サービスの概要



SuccessChain for DataPlatform 概要図

「SuccessChain for DataPlatform」は、“投資額を抑え”“クイックに成果が体感”“継続的に高度化”を目的とし、業務視点で課題解決をアプローチするデータプラットフォームです。製造業が直面しやすい業務課題に対して、予め用意したシナリオやデータモデルを活用して、異なる部門や工程で分散しているデータをクイックに集約します。集約したデータをもとに、製造業のサプライチェーン全体を俯瞰して業務課題を可視化し、課題の根本原因の追究を可能にします。

3. サービス特長

① 製造業に特化した業務課題を短期間で可視化

従来のデータ活用サービスとは異なり、本サービスは製造業特有の業務課題に基づいたシナリオやデータモデル、レポートを当社独自で開発したテンプレート化により、効率的なデータの集約と可視化が可能になり、製造業の現場で直面する課題を迅速に分析し、業務改善や意思決定に繋げることができます。

② コンサルティングサービスから運用までのデータ活用をトータルサポート

SCSKとJDSCの豊富な実績からのコンサルティングサービスを提供し、データ活用状況の判定や業務課題の明確化を行います。ヒアリングシートを元にマルチクラウドに対応した基盤構築やデータ活用テンプレートを使用することで、最短1ヵ月で導入が可能となり、その後の運用まで包括的に支援します。本サービスにより、製造業のデータを管理・活用でき、これにより業務効率の向上や市場動向への迅速な対応といったビジネス戦略の最適化が可能となり、競争力を高めることができます。

4. サービス構成

① コンサルティングサービス

・共通コンサル

「製造分野 DX 度チェック※1」に基づき、現場毎の DX レベルを調査し会社全体のデータ活用レベルを診断します。これにより、製造業における組織全体としてのデータ活用レベルを把握することができ、お客様が優先して取り組むべき課題を特定します。

※1 IPA 独立行政法人 情報処理推進機構:<https://www.ipa.go.jp/digital/dx/mfg-dx/mfg-dx.html#section8>

・業務課題別コンサル

経済産業省が提唱する製造事業者が直面する経営・業務変革課題を起点とした「スマートマニュファクチャリング構築ガイドライン※2」のマニュファクチャリング変革課題をもとに、お客様が抱える在庫適正化などの業務課題を明確化し、データ活用状況を判定、経営の高度化に資する業務データを特定します。

※2 <https://www.nedo.go.jp/library/smart-manufacturing-guideline.html>

② クイック基盤サービス

IaC(Infrastructure as Code)化により、予め用意したテンプレートを実行するだけで Amazon Web Services、Google Cloud、Microsoft Azure、Oracle Cloud Infrastructure、Snowflake などあらゆるクラウドに対応したデータ活用基盤を築けます。

③ クイックコンテンツサービス

製造業特有の業務課題※3 ごとに、誰がどの画面でどんなデータに着目しどのようなアクションを取るべきかが分かる、予め用意したシナリオやデータモデルを活用することで、クイックにデータを可視化します。また、ソースシステムとデータ活用基盤はデータ統合に強みのあるインフォマティカで連携し、蓄積したデータは、インフォマティカのデータカタログで見つけやすい状態にすることでデータ探索時間を削減します。

※3 2025年4月時点で対応する業務課題は、「在庫適正化」「最適サプライチェーン構築」「製品の付加価値向上」「品質向上」です。

④ 伴走型運用・運営サービス

サービス導入後もデータ活用状況をあらゆる観点でモニタリングし、定期的な業務改善活動により、安定的かつ継続的にデータ活用を伴走型でご支援します。

5. 価格・料金

下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

6. 販売目標

2030年3月までに50社の導入を目指します。

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)まで、ビジネスに必要なすべてのIT サービスをフルラインアップで提供しています。また、IT を軸としたお客様や社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決にむけた新たな挑戦に取り組んでいます。

<https://www.scsk.jp/>

株式会社 JDSC について

株式会社 JDSC は、製造、物流、エネルギー、ヘルスケア、公共など、基幹産業を中心とした幅広い分野において、社会課題や産業共通課題の解決による日本のアップグレードに貢献します。一気通貫型の高付加価値な AI ソリューション開発を強みとし、アルゴリズムモジュールの開発とライセンス提供事業、IT システムの開発と運用事業、データサイエンスに関するビジネスマネジメント事業を行っています。

<https://jdsc.ai/>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

産業事業グループ エンタープライズソリューション第二部

SuccessChain for DataPlatform 担当

E-mail: successchain-dataplatform-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 須田

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

※ Oracle、Java、MySQL 及びNetSuite は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。NetSuite は、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。